

ベクトル

福島県立葵高等学校

進路だより

2020年11月17日(火)発行

第9号

11月も半ばを過ぎた。共通テストまで60日。

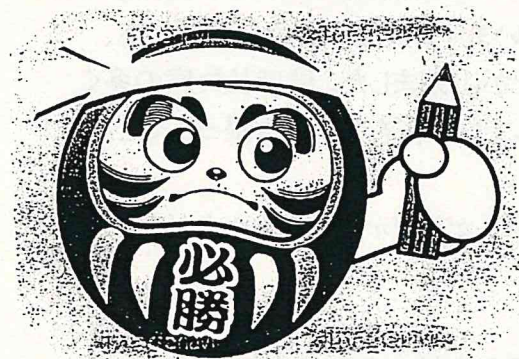
3年生は今は一番辛い時である。1年前にそれと

乗り越えた卒業生が応援メッセージを送ってくれた。

経験者ならではのエール。裏面までよく読んでほしい!



卒業生から、応援メッセージ **エール** が届きました!



頑張れ! **3年生!**

○みなさんは今、つらいですか? 苦しんでいますか? 苦しかったりつらかったりしているとしたら、それはとても素敵なことですね。もし、自分はいま楽だなんて思ったら、それはむしろ心配をした方がいいのかもしれない。努力をして苦しみから何かを見だし、手に入れるからこそ大切にしたいと思えることがあるのではないのでしょうか。私の苦しかった経験は、今となってはとても大切なものになっています。そして、努力は結果を出すためではなく、成長するためにするものだとは私は思っています。少しの“成長”にも喜びを感じると、努力が楽しくなります。生きている以上、失敗と呼ばれるものは誰にだってあります。大切なのは、その経験から何を学び、“自分が求めるもの”のために次にどんな行動をするかです。勉強に手をつけられていない自分に気づいて自分を責めそうになった時、あまり点数が伸びなくて不安になった時、大切なのはそう思った瞬間に何をするかです。英単語1つ覚えるだけでもいいと僕は思います。あなたの行動一つで、とても多くの者が変わると私は信じています! 応援しています!

日常生活で模範的な生徒でした。彼のことを悪く言う人はいなかったのではないかと思います。彼くらいの人物なら面接の練習もスムーズに進むだろうと思っていましたが、実際はそうでもなかったようです。経験に裏打ちされたメッセージだと思います。そして、合格、よりももっと大切なものを、推薦入試を通して得たのだと思います。国公立大学公募推薦で合格しました。

○私は私文クラスだったので、周りのみんなの進路が決まるのが早く、そんな中で一般入試まで勉強をするのが本当に辛かったです。ですが、一般試験まで受ける友人が勉強を頑張っている姿を見て頑張れました!一緒に頑張っている友人の存在はとても大きいです。受験は団体戦とよく言われますが、本当にその通りだと思います。ここからが本当に辛い時期だと思いますが、最後まで諦めないで頑張ってください!みなさんの進路実現を祈っています!

この3月の卒業学年は、3年6組が私立文系コースの生徒だけで編成しました。総合型選抜(旧AO入試)や学校推薦型選抜(旧推薦入試)で合格する生徒が多く、一般入試で合格を決めた生徒はクラスの4人に1人でした。その中で、日頃の学校生活も真面目に取り組み、私立大学一般入試で合格しました。

○この時期になると、不安や焦りが出てきて精神的にも体力的にも辛くなってくると思います。私もその気持ちはすごく分かります。私から言えることは、一人で溜め込まずに周りを頼ってほしいということです。私も先生や友達にたくさん話を聞いていただきました。人に話すことで少し気持ちが楽になることもあります。先輩を頼ってもいいと思います(私もいつでも待っています!!)。そしてなにより、一緒に頑張っている友達がいたことで私は頑張れました。みなさんも支え合って乗り越えてほしいなって思います。早く終わらせたいって思う気持ちはすごく分かります。私も受験期はそう思っていました。でも今は、あの時最後まで頑張ったと本当に思います。案外、自分が想像もしなかった所に行くのもいいですよ。ぜひ最後まで諦めないでほしいです!!休憩も大切なので、無理し過ぎずに頑張ってください。応援しています!!

真面目な頑張り屋でした。滑り止めで受けた私立大学の併願可能な推薦入試で失敗し(同じ大学を受けた他の数人は合格)、かなり辛い思いをしました。センター試験の結果から、第一志望は厳しく、遠くの国公立大学を受験し、合格しました(担任のアドバイスが功を奏しました)。

卒業生から応援メッセージ、エールが届きました！

○推薦型の入試の結果が出始める頃かと思います。結果がついてこなかった方、3月30日まで何が起こるかわかりません。頑張ってください。

この卒業生は、ある国公立大学の公募推薦を受け不合格となり、同じところを前期で受けて不合格、後期も受けたけど不合格でした。ところが、3月30日にその大学から追加合格の連絡が来ました！

○私は推薦入試の準備で毎日帰る時間は午後8時ごろでした。電車通学だったので朝はかなり早く、寝るのは深夜1時過ぎという日が多く寝不足で辛かったです。しかし、入試の面接練習や小論文の添削をやっていただいた先生方、毎朝弁当を作ってくれた母親にいい報告がしたい、これを原動力に頑張りました。

この卒業生は、真面目で頑張り屋でした。国公立大学一本だったので、プレッシャーも大きかったかと思います。国公立大学公募推薦で合格しました。

○ほとんどの人が部活を引退して、学校生活のほぼすべてを勉強に捧げていると思います。自分も吹奏楽を高校生活の大きな楽しみの一つと考えていたので、それが終わってからやはり虚無感がありました。しかし、一般の吹奏楽団体に通っていて頻度は減りながらも好きなことをすることができていました。自分の場合、吹奏楽が好きなことだったので、それがストレスを発散するきっかけになっていくらか勉強に対する苦しみが減りました。要は、「日々のストレスを、自分の好きなことをして発散すること」が大事ということです。在校生のみなさんに、「たまには好きなことをする」ように伝えてください。

書いてある通り吹奏楽部で頑張った生徒です。心から吹奏楽、楽器が好きなんだなと思いました。吹奏楽を大学でも続けているようです。センター試験ありの国公立大学公募推薦で合格しました。

○本番が近づき不安な気持ちがあるとは思いますが、最後まで勉強し、悔いのない受験にしてください。

卒業式後も学校に来て3月20日ごろまで頑張り抜きました。合格していた大学はあったものの、自分が本当に行きたい大学の、3月最後の一般入試で合格しました。

○僕の精神的に辛いことがあった時の乗り越え方は、とにかく好きなことをすることです。やることはやらなければいけないですが、辛くなったときは少し逃げることも大切だと思います。好きなことなんでもいいので、1回逃げることで辛さを少し緩和しその後また頑張ることで心のゆとりができます。と思います。頑張ることも大切ですが、メリハリをつけることはとても大事です。なので、しっかり休むことも大切だと思います。欠席の多かった僕でも、いろんな方々の力と努力で大学に入ることが出来ました。僕ほど欠席の多くない人たちは余裕だと思います。心に少しでも余裕をもって頑張ってください！応援しています！

確かに欠席が多かった生徒です。その多さが気がかりでもありました。私立大学公募推薦で合格を勝ち取りました。

○後輩たちに伝えたいメッセージは、「探究心を持つこと」です。

解らない問題があれば、その問題の答えが何故そうなるのか解るようになるまで深め、自力で解けるようにする。志望校については、どんな先生がいて、どんな特徴があるのか調べるなど。解らないこと、知りたいことはとことん追求してほしいです。

真面目な学校生活を送った卒業生で、彼らしいメッセージだなと思いました。指定校推薦で合格しました。

○私は一年前の今、焦りと不安でいっぱいでした。模試を何度受けても点数が伸びず、合格可能性もほとんどないような状態だったからです。でも私は自分を信じて勉強をし続けました。昼休みも図書館に行ったり、渡り廊下に行ったりして何かしら勉強をするようにしていました。職員室にもよく質問をしに行っていました。本当に辛かったけれど、仲間が頑張っている姿を見て“私も負けたくない！”と思い頑張り続けました。私がその時守り続けていたのは“笑顔でいること”です。辛くて不安だったけど、笑顔でいられることでなんとなく大丈夫だと安心することもできたし、友達を励ますこともできました。そんなことを毎日続けていたら、最後には第一志望の大学に合格できました。私がしたことはあきらめないで続けることと、毎日笑顔でいることです。あきらめないで頑張ればきっと結果はついてきます！頑張ってください。応援しています！

本人が書いた通り、日頃の学習時間が模試の結果に結びつきませんでした。それでも、日常生活では笑顔で友達に接し、職員室にもよく質問に来ていました。センターありの国公立大学公募推薦で合格しました。